

令和7年度 えびの市立真幸小学校 学校関係者評価書

4段階評価

4 よくできている

3 ほぼできている

2 あまりできていない

1 改善の必要がある

学校の経営ビジョン	「人や地域を大切に、誰一人取り残さない教育の推進～まなびあう子 ささえあう子 きたえあう子～「元気 笑顔 幸せいっぱい真幸小」 ①「自立（自分で生きる力を身につける）と自律（自分の意志をもって行動する）を意識した教育」 ②「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性を受け入れ、個を伸ばす）を意識した教育」 ③「ウェルビーイング（心も身体も社会的にも全てが満たされた状態）と心理的安全性（自分の意思を安心して表明できる）を意識した教育」 を通して、児童が通いたい・保護者が通わせたい・地域が応援したい学校づくりをめざす。
-----------	---

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	教職員・保護者への質問	教職員評価(%)	保護者評価(%)	関係者評価(4/3/2/1)	学校関係者評価のコメント
【授業力向上と児童の「学ぶ意欲」の向上】	1 「分かった・できた」と実感できる授業の実践	【教職員】 ○ 校内主題研究に沿って、4つのチェックポイントや「ひなたの学び」を意識した授業実践（2回の研究授業も含む）を行い、他の職員と学び合いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校での学習内容を理解し、もっと学びたいという意欲を高めることができていますか。	100	82.0	3.6	特になし
	○ 4つのチェックポイントと「ひなたの学び」を意識した授業実践 ○ 校内主題研究の充実	【教職員】 ○ 学校では学習規律を徹底させ、「聞く」「話す」態度を育成し、授業でタブレットを活用しながら、家庭と連携した学習の習慣化を図りましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、家庭学習に進んで取り組み、時間割を見て次の授業の準備をする態度が身につけていますか。	93.4	74.7	3.4	○ タブレットの活用は賛否両論あると思うが、長期記憶という点から、全国的に学力の低下が聞かれ、気になる。うまく利用していく必要があると考えている。また、「聞く」態度を育てることが難しい時代になってきて、大変さを感じる。
	2 基本的学習習慣の徹底	【教職員】 ○ TTや個別指導、スマイルドリル（全学年）やミライシード（5年生のみ）を通して、個別最適な学習支援を行っていますか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校でスマイルドリル（5年生はミライシードも含む）というタブレットの問題に取り組んでいますか。	92.3	83.5	3.8	特になし
	○ 学習規律の徹底 ○ 「聞く」「話す」態度の育成 ○ 家庭と連携を図った学習の習慣化	【教職員】 ○ 特別支援教育は全職員で取り組むという認識のもと、年3回の校内支援委員会を通して、個別に支援の必要な児童に寄り添い、支援しようとする姿勢を心掛けていますか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校での生活（授業中やその他の時間）で困ったことがあった時に、先生に相談することができていますか。	100	82.4	3.6	○ 特別支援教育については、全職員で取り組む認識が共有され、関わっていらっしやるのがよく伝わってきます。
	3 個別指導の工夫	【教職員】 ○ 年間35時間の道徳の授業を完全に実施し、児童の道徳的実践力を育てていますか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校の道徳の授業について家庭で話したり、人や物、命などを大切にしようとする態度が育ってきていますか。	100	85.6	3.8	特になし
4 特別支援教育の充実	【教職員】 ○ 児童が本に親しみ、全員が昨年度より読書量を増やすことができるよう、読書に対する啓発を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校や家で本を読む努力をしていますか。	86.7	48.6	2.4	○ 簡単に情報を収集することができるので、読書離れが進んできている。文章を読んで、理解する力が落ちてきていることに対して、丁寧な対応が難しいと思う。 ○ 朝自習の時間10分程度でも本を読む時間と曜日を決め、今週の何曜日は読むとかの時間設定ができるといいですね。	
【人間性・社会性の育成】	1 道徳教育の推進	【教職員】 ○ 児童がボランティア活動や地域と連携した体験的活動に積極的に取り組み、キャリアパスポートを通して社会性や対人関係力を育成することができるよう促していますか。 【保護者】 ○ お子さんは、ボランティア活動や地域の方との体験的活動に、楽しんで参加していますか。	100	97.3	3.8	○ いじめのアンケートに1つ1つ丁寧に関わっていらっしやるとお聞きしました。保護者も信頼でき、心強いらしいと思います。校長先生にも直接話したり、お手紙を書いたりするというお話があり、子ども達も相談したいという気持ちになるように信頼関係が築かれている事が伺えます。
	○ 「特別の教科 道徳」の充実 ○ 全教育活動を通じた道徳教育の実施	【教職員】 ○ 児童が本に親しみ、全員が昨年度より読書量を増やすことができるよう、読書に対する啓発を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校や家で本を読む努力をしていますか。	86.7	48.6	2.4	○ 簡単に情報を収集することができるので、読書離れが進んできている。文章を読んで、理解する力が落ちてきていることに対して、丁寧な対応が難しいと思う。 ○ 朝自習の時間10分程度でも本を読む時間と曜日を決め、今週の何曜日は読むとかの時間設定ができるといいですね。
	2 児童理解や人権教育の充実	【教職員】 ○ 児童が本に親しみ、全員が昨年度より読書量を増やすことができるよう、読書に対する啓発を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、学校や家で本を読む努力をしていますか。	86.6	55.8	2.6	○ 地域の方に協力してもらいながら、体験的活動が充実していると感じる。
	○ 自己指導能力の育成 ○ 教育相談の定期的な実施 ○ 人権教育研修の実施 ○ 学級会活動の充実 ○ 児童による代表委員会の実施	【教職員】 ○ 教室での感染症対策を行い、児童の体や歯の健康を保ち規則正しい生活リズムを促すような指導を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、むし歯や感染症に気をつけて規則正しい生活リズムを保ち、むし歯は確実に治療することができていましたか。	100	88.2	3.8	○ 生活リズムの中でも、睡眠のリズムを整える事が難しい家庭に対しての働きかけが難しいだろうと思う。
【健康・安全と体力向上】	3 読書活動の推進	【教職員】 ○ 食物アレルギーのある児童の事故を防止するよう気をつけ、好き嫌いができるだけ克服し自分に合った量を食べることができるよう、常時指導を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、給食をできるだけ好き嫌いなく、自分に合った量を食べることができていましたか。	100	90.1	3.8	特になし
	○ 図書室利用の促進 ○ 家庭での読書啓発 ○ 1, 2年読み聞かせ	【教職員】 ○ 地震、火災、不審者、保護者引渡しの計4回の避難訓練を確実に実施し、日頃から自分で考えて行動するように意識して指導を行いましたか。 【保護者】 ○ お子さんは、年4回の避難訓練に積極的に参加し、日頃から自分の命を守ろうとする意識を高めていますか。	100	96.3	3.8	○ 避難訓練を通して自分の命を守ろうとする力が育っていると思う。
	4 地域連携や豊かな体験的活動の実践	【教職員】 ○ 教科体育の充実（運動技能の向上のための指導） ○ 運動の日常化（運動の機会の拡大・外部機関との連携等）	93.3	71.0	3.0	○ 運動量が減っていると感じる。運動場を昼休みに全生徒で遊ぶ機会があり、生徒達も楽しそうに参加し、とてもいい取り組みだと思う。
	○ 体験的活動の実施 ○ 交流を目指した地域人材の活用 ○ リーダー育成や表現力、対人関係力育成 ○ ボランティア活動の充実 ○ 計画的なキャリア教育の実施	【教職員】 ○ 感染症への対応（県・市の規定に合わせたマニュアルに沿った対策の実施） ○ 学校での指導及び保護者への啓発（保健衛生習慣の定着・生活リズムの定着）	100	88.2	3.8	○ 生活リズムの中でも、睡眠のリズムを整える事が難しい家庭に対しての働きかけが難しいだろうと思う。

【家庭・地域との連携・協働】	1 地域を生かした学習の充実	【教職員】 ○ えびの学実施100%を通して、児童が地域の方々と積極的に関わり、えびのの良さを体感できるよう指導していますか。 【保護者】 ○ お子さんは、えびの学（総合的な学習の時間で、えびのについて学ぶ授業）の授業に積極的に取り組み、えびのについて学びを深めていますか。	93.4	90.0	3.8	○ 学級通信や保健だより等を通して学校発信はできているが、受け取る側の全保護者に周知してもらう努力がされている。 ○ えびの学に関して、真幸地区を特に、ということでした。真幸を知る学びを期待します。
	2 学校と家庭・地域の一体活動の充実	【教職員】 ○ 学校参観日における学級懇談、学級通信や保健だより等を通して、学校と地域の連携の様子やその良さを家庭や地域に発信し、連携を深めることができていますか。 【保護者】 ○ 学校参観日の学級懇談、学級通信や保健だより等を通して、学校と地域の連携の様子やその良さが家庭や地域に伝わっていると思いますか。	93.8	91.9	3.8	特になし
	3 地域の学校支援活動の充実	【教職員】 ○ 前年踏襲ではなく、新しい取組や人材活用ができるよう、管理職や外部機関に相談し、学校に新しい風が吹くように努力しましたか。 【保護者】 ○ 地域学習であるえびの学の授業において、お子さんがどのような学習をしているかをご存じですか。（4：よく知っている 3：一部知っている 2：あまり知らない 1：全く知らない）	92.8	70.3	3.6	特になし
	4 地域から学校運営への参画推進	【教職員】 ○ 新しい学校評価システム（学校経営ビジョンと学校評価や教職員評価を一元化したもの）や学校運営委員会を通して、学校の素早い課題解決や自分の役割の明確化が図られると思いますか。 【保護者】 ○ 月1回発行の学校だよりや週1回程度更新の真幸小ホームページ等をご覧になっていますか。（4：よく見ている 3：時々見ている 2：あまり見ていない 1：全く見たことがない）	92.9	80.9	3.4	特になし
学校運営協議員の評価	<p>○ 日頃より、複雑化・多様化している学校現場での課題に真剣に取り組んで頂いている。先生方に感謝致します。子どもたちの教育環境を充実させるためにも、地域の一員として子供たちを育む取り組みがもっと必要と改めて感じています。</p> <p>○ 勉強の仕方にデジタルを取り入れることは良いと思いますが、これからタブレットの持ち帰りなど進めていけば更に、電子機器への依存が進まないか心配です。講演会などで、デジタル機器との付き合い方等、学校でやったりしている一方でタブレットの持ち帰りができるという、何か矛盾があるような気がします。「電子機器と上手に付き合う」と簡単には言えますが実際は中々各家庭出来ていないのではないのでしょうか。読書活動の評価が家庭の方が点数が低い事につながっている気もします。</p> <p>○ 堤防側から入ってくる朝の車での送りは、ケガ等でどうしても車での送迎しかできない方などにされると良いかと思えます。</p> <p>○ 挨拶が本当にいいと思えます。</p> <p>○ あまり、ほとんどなんの協力もできずに、申し訳なく思ってます。来年度は、定期的に学校訪問して子どもらの様子をみればと考えてますが…。</p>					
校長所見	<p>知育面においては、「2 基本的学習習慣の徹底」において、学校では基本的な学習習慣を徹底して身につけさせる努力をしているが、家庭では学習に進んで取り組み、時間割を見て次の日の準備をすることができていない現実がややあることが分かった。学級通信や時間割は定期的に配付しているので、保護者にはぜひ家庭での声かけや見届けをお願いしたい。</p> <p>また、徳育の「3 読書活動の推進」、「4 地域連携や豊かな体験的活動の実践」において、教職員も評価がやや低く、保護者も肯定的な評価が約半数と低い傾向にあるため、本に親しむ取組やボランティア活動にもっと積極的に取り組む努力をしなければならないと思われる。えびの学を通じた地域連携の授業は、各学年豊富に盛り込まれており子どもたちも多くの学びの機会をいただいているにも関わらず、保護者へその内容が伝わっていないことが大変残念に思われる。学級通信や学校だよりでも紹介されているが、確実に読んでいただけていない現状があるのかもしれないので、これらの通信を確実性の高いメールでの配信も同時に行うことで周知を図り、家庭でも話題にさせていただくようお願いしたい（実際、2月号より安心メールでの配信も始めた。）</p> <p>体・食育の面では、スクールスポーツプランや個別の体力向上プランの内容をもっと保護者に知っていただく努力が必要であると思われる。</p> <p>最後に、「家庭・地域との連携・協働」においては、前述のとおりえびの学の内容やお世話になっている地域の方々のことを保護者にも知っていただき、学校と地域のつながりがさらに深くなるような工夫を考えていきたい。</p> <p>以上、主に改善点を記述したが、学校運営協議委員の方々には、概ね高評価をいただけたことに、感謝の意を表したい。貴重なご意見やご助言もいただけたため、次年度の学校経営に積極的に生かしていきたいと考える。</p>					

